TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

神さまの知恵　同じ一つの霊の働き
コリントの信徒への手紙一 12:1-11

2025 年 6 月 21 日 & 22 日
余沢　武 牧師

I.　はじめに

ごあいさつします。先週お伝えしたように、3 週間後に「改訂版インパクトビルディングプロジェクト（新会堂建築計画）」をご紹介したいと思っています。どうか、神の導きと備えのために引き続きお祈りください。

1 コリントでは、パウロがコリント教会の分裂、不道徳、偶像礼拝や礼拝の問題に取り組んでいる様子を見てきました。彼らは、神が定めた秩序を軽んじ、社会的地位の異なる兄弟姉妹たちに愛を示していませんでした。

今日は、彼らが誤解していたクリスチャンとしての「成熟」または「信仰の状態」について見ていきます。まず、祈りしましょう。

II.　同じ一つの霊の働き

(1)　聖霊の働き

1 コリント 12:1-3 を開きましょう。「[1] さて、きょうだいたち、霊の賜物については、次のことをぜひ知っておいてほしい。[2] 知ってのとおり、あなたがたは、まだ異邦人だったとき、誘われるままに、ものの言えない偶像のもとに連れて行かれました。[3] そこで、あなたがたに言っておきます。神の霊によって語る人は、誰も「イエスは呪われよ」とは言わず、また、聖霊によらなければ、誰も「イエスは主である」と言うことはできません。」

この聖句の背景を見ていきます。コリントでは、礼拝中あるクリスチャンが「異言」で語っていました。それは、話している本人も、周りの人も理解できない言語でした。人々はそれに魅了され、そうした人々を「非常に信仰深いクリスチャン」として、特別な敬意を持って扱っていました。

パウロは「自分自身をよくごらんなさい。あなたはかつて口のきけない偶像に付き従っていたかもしれませんが、今は全員が等しく深い信仰があるのです」と語ります。 その証拠に「イエスは呪われよ」としか言えなかったクリスチャンではないユダヤ人とは違い、「イエスは主です」と言えるようになったのです。聖霊の働きなしに誰も「イエスは主です」と言うことはできません。

ですから「イエスは主です」と言うことは、「イエスは神です」と言うことと同じ意味です。つまり、「私はイエスを 100%信頼し、イエスを追い求めて 100%従い、100%委ねます」と言っているのです。

多くの人はこう言うでしょう。「私は自分の気持ちを信じ、自分の気持ちに従い、自分の気持ちに委ねている」と。あるいは「お金を信じ、お金に従い、お金に委ねている」、または「成功を信じ、成功に従い、成功に委ねている」と。

しかし神の聖霊が心に住み、心に力強く働いている人だけが、こう言えるのです。「私はイエスを完全に信頼し、イエスに従い、イエスに委ねている。イエスこそ主です」あなたが心からこう言えるなら、世界で最も信仰のある人の一人です。

(2)　働くのは同じ神

さらに続きます。4-6 節「[4] 恵みの賜物にはいろいろありますが、それをお与えになるのは同じ霊です。[5] 務めにはいろいろありますが、仕えるのは同じ主です。[6] 働きにはいろいろありますが、すべての人の中に働いてすべてをなさるのは同じ神です。」

そして、同じ「聖霊」が「異なる賜物」を「それぞれの人に」与えます。同じ「主イエス」は人々に、それぞれの賜物を用いる「異なる奉仕」を与えます。同じ「父なる神」は「異なる働き」を通してそれぞれの奉仕に力を与えてくださいます。

つまり、聖霊が賜物を与え、イエスが奉仕の場を与え、神が各々を用いるための力を与えてくださるのです。究極的にすべては同じ神によってなされているのです。

以前、この教会には夕拝はありましたが、日曜午後の礼拝はありませんでした。ある日曜の午後、教会の兄弟と一緒に、入院している別の兄弟を訪ねました。渋谷に戻ったのは午後 5 時頃で、みんなお腹が空いていました。

一緒にいた兄弟は、労災で休職中だったのでお金があまりないことを知っていました。そこで私が駅でサンドイッチを 2 つ買いました。1 つは自分用でもう 1 つは彼に。私は食べ始めました。でも彼はサンドイッチを食べません。「食べないの？」と聞きました。

彼はこう言いました。「教会で兄弟がいるんだけど、たぶん何も食べてないと思う。だからサンドイッチを分けようと思って」私は感動しました。彼のためもう一つ買えばよかったと思います。ただ、今振り返ってみると……

この話の中に教会の美しさを見ます。それぞれの人に分かち合う何かが与えられました。それぞれ奉仕が与えらました。神はそれぞれの人に教会のためにするべきことをする思いと力を与えます。それぞれに働くのは「同じ神」です。

ちょうど、一人の人が、まずピアノを弾いて録音し、その録音を流しながらギターを弾いて、それも一緒に録音します。

そして今度はその録音済みの音に合わせてベースを弾き、同じように重ねていきます。次にドラムを加え、さらにソプラノ、テナー、アルト、バスの各パートを歌い、それぞれを録音して合わせます。

私たちがそれを再生するとき、いろいろな楽器やパートが聞こえますが、それはすべて一人の人が作ったものです。教会も同じです。いろいろなメンバーがいろいろな奉仕をしていますが、すべては神がなさっていることなのです。私たちは皆、神が用いられる異なる楽器なのです。

TBC（東京バプテスト教会）では、説教者、教師、賛美チーム、バンド、クワイヤー、案内係、音響係、メディア係、翻訳者、スライド制作・操作係、スモールグループのホスト、さまざまなミニストリーや交わりの働きをしている人がいます。しかし、それらすべてが同じ神によってなされているのです。

私たちは皆、神が用いられる異なる楽器です。そして、誰も他の人より優れているわけではありません。これが教会なのです。

（3） 全体の益となるため

パウロは続けます。**7-11 節 “7 一人一人に霊の働きが現れるのは、全体の益となるためです。 8 ある人には、霊によって知恵の言葉、ある人には同じ霊に応じて知識の言葉が与えられ、 9 ある人には同じ霊によって信仰、ある人にはこの唯一の霊によって癒しの賜物、 10 ある人には奇跡を行う力、ある人には預言する力、ある人には霊を見分ける力、ある人には種々の異言を語る力、ある人には異言を解き明かす力が与えられています。11 しかし、これらすべてのことは、同じ一つの霊の働きであって、霊は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださるのです。”**

パウロはコリント教会に全体の益となるようそれぞれに与えられた賜物をいくつか列挙します。 人によって持つのは：

① 知恵の言葉 … 神の御心を行うためのメッセージ
② 知識の言葉 … 神の御言葉を理解するためのメッセージ
③ 信仰 … 山を動かすような、困難なことを成し遂げる信仰
④ 癒しの賜物 … 神の癒しの力の器となること
⑤ 奇跡を行う力 … 神の超自然的な力の器となること
⑥ 預言 … 神の御言葉を公に語ること
⑦ 霊を見分ける力 … 真の預言と偽の預言を見分けること
⑧ 異言 … 神へ直接語る未知の言葉
⑨ 異言を解き明かす力 … 異言で語られたことを説明する能力

11 節でこう言います。「しかし、これらすべてのことは、同じ一つの霊の働きであって、霊は望むままに、それを一人一人に分け与えてくださるのです。」

これが教会です。私たち一人ひとりが神を完全に信頼し、従い、委ね、聖霊が与えてくださる賜物を、イエスから与えられたミニストリーを通して、神の力に

よって用いるとき、教会は「キリストのからだ」として命を持ち始めます。そして世界は私たちを通してイエスを見るようになります。

2000 年、ホンダは ASIMO という人型ロボットを開発しました。それは人間のように話し、動き、歩き、走り、ジャンプし、踊り、階段を登り、サッカーボールを蹴り、人混みの中を自律的に移動することができました。そして、それはバッテリー駆動でした。

すべての部品が一緒に働いているとき、まるで人間の様です。これは驚くべきことです。
しかし、もし ASIMO の腕がなかったり、脚がなかったり、どこかの部品が欠けていたら、その働きは大きく制限されます。特に重要なのは、どんな部品でも、バッテリーにつながっていなければ、一見よく見えていても、マネキンのように何もできないことです。

教会も ASIMO のようなものです。神は私たち一人ひとりを集めて、イエスのからだとしてくださいました。神がくださる賜物を、神が置いてくださった場所で、神が働かせてくださる力によって用いるとき、私たちは驚くべきことをすることができます。
しかし、キリストのからだに腕がなかったり、脚がなかったり、どこかが欠けていたら、私たちの働きは非常に制限されてしまいます。特に重要なのは、私たちの誰かが力の源につながっていなければ、つまり信仰を持って、従い、委ねて仕えていなければ、一見よく見えていても、神の力が働かなければ、説教も、教えも、賛美も、奉仕も、何をしても結果はゼロだということです。

私たちはキリストのからだであり、「一人ひとり」が賜物と奉仕と神の力で完全に整えられ、教会全体の益のために用いられているのです。

コリント教会の人たちは、このことを完全に誤解していました。彼らは、教会が特別な霊的賜物を持った、少数の非常に信仰深いエリートたちによって支えられている、と思っていたのです。

パウロはこう言います：違います。一人ひとりが等しく霊的であり重要なのです。なぜなら、聖霊が一人ひとりに賜物を配り、イエスがそれぞれに奉仕を与え、そして神が私たちを通してその力を働かせてくださるのです。それは、私たちが神を信頼し、従い、委ねるときに成り立ちます。

皆さん一人一人に、教会の一部となるよう励ましたいと思います。
神を信頼し、賜物を教会全体の益のために用いてください。神の力が、私たち一人ひとりを通して働いてくださるように。

それは「私たちが何をできるか」ではなく、「神が何をしてくださるか」にかかっています。
神にご自身の民を通して、最も驚くべきことを成していただきましょう。

どこから始めてもいいのです……
すでにあるミニストリーに加わることから始めるのもいいでしょう。または、自分のスモールグループのためにできることを見つけましょう。あるいは、近くに座っている人たちと話したり、励ましたりするという、身近な個人的ミニストリーを始めるというのもあります。

東京バプテスト教会を、神の教会としてください。この教会のあらゆる人、あらゆる賜物を通して、神が働かれるようにしましょう。まだイエスを信じていない方。 今日、その一歩を踏み出してみませんか。イエスにあなたを、教会の「ご自身の愛の器」としていただきましょう。

定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2625jp

奉仕者募集中！

急募！

日本語訳レイアウト&印刷（女性３名募集）

英語のスキルは必要ありません。
・月１回～、土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。

*スキル：MS Word の操作ができる方。
*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org

★クラス 402
キリストの伝え方
6 月 29 日(日)1:00pm – 4:00pm
場所: カンファレンスルーム
参加条件: クラス 101 を修了した教会員

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9 月 7 日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: どなたでも

★クラス 201
霊的に成長するために
9 月21日(日)1:00pm – 5:00pm
場所: ランゲホール(B1)
参加条件: クラス 101 を修了し、メンバーの方

全クラス申し込み：https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu